

## ローラー型タイヤ歪みセンサー（量産・試作開発スタート）

### 1. はじめに

ローラー3個をタンデム配列した縦断プロファイル測定機の「第二ローラー」を「測定車両の後ろ車輪」を兼用すると、その車輪のタイヤの歪みが悪影響して測定誤差を生む為、車両タイヤの横に「タイヤの歪み」を計測するセンサー（ローラー型）を取り付け、計測誤差を減少させる機能の試作・開発中である。

### 2. 下図は測定車両の左後輪に取り付けた様子を示す。

ローラー3個の位置関係を連結角計測して、その連結角からプロファイルを復元する手法では、ローラーの回転半径の変化は計測誤差に直接影響する。乗り心地向上目的の空気入りタイヤは瞬時に歪み路面に応答する空気バネである。

そこで、歪みの小さいソリッドタイヤをデュアルに配置して測定車両のタイヤ歪みを計測し「連結角を補正」して誤差の減少を目的としている。

